



題字 小笠原 孝

第 29 号

令和3年10月1日

発行

一般財団法人  
小笠原アカデミー  
教育振興財団

理事長

小笠原 孝

〈事務局〉

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396

FAX 0138-84-5397



北海道教育庁  
渡島教育局長 谷垣 朗

「すべての子どもたちの可能性を  
引き出す教育の実現に向けて」

一年間延期になっていた、東京二〇二〇オリンピックが過日、十七日間にわたる競技を終えて、閉幕しました。緊急事態宣言下でのオリンピックの開催について、国内外で賛否両論がある中、日本人選手が史上最多のメダルを獲得するなど、コロナ禍にあっても希望と勇気をもち、困難を克服し、やり抜くアスリートの姿は、国籍や立場を超えた感動を世界中の人々に与えたことと思います。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大については、未だ先行きが見えず、国民生活に大きな影響を与えています。マスクの着用、手指の消毒が当たり前になり、デジタル化、オンライン化が大きく促進され、諸会議はWeb上で行うことが日常になりました。

この夏、オリンピック競技の結果とコロナ関連の情報が同じメディアから同時に伝えられています。

た。これまでなら相容れない2つの事柄が同じ国で、同時に進行しているこの状況は、様々な価値観や多様性が尊重される現代社会の有り様を顕著に表しており、今、大きな時代の転換点に立っていることを改めて感じたところです。

さて、令和二年度から四年度にかけて小学校、中学校、高等学校と同時、全面实施となる新しい学習指導要領は、こうした予測が困難な時代にあつて、子どもたちが社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けることを大切にしています。

これまでも学校教育においては、

先生方や学校職員の献身的な努力に支えられ、国際的にトップクラスの学力や規範意識、道徳心の高さなど大きな成果を挙げてきましたが、変化する時代の中で、先生の負担の増大や先生の成り手不足の深刻化、子どもたちの多様化、少子化・人口減少による学校教育の維持とその質の保障、情報化への対応の遅れ、新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立など、新たな課題に直面しています。

そのため、子どもたちに知・徳・体にわたる「生きる力」を一体で育む日本型学校教育の良さを受け継ぎ、更に発展させる新しい時代の学校教育「令和の日本型学校教育」の実現が求められています。

「令和の日本型学校教育」の実現には、学習指導要領に基づき、子どもたちの資質・能力をより一層確実に育むため、基礎学力を保障してその才能を十分に伸ばし、社会性等を育むことができるよう、学校教育の質を高めることはもとより、学校や先生がすべき業務・役割の範囲、内容、量の精選、縮減、重点化により、子どもたちに寄り添って効果的な教育活動を行えるようにする学校における働き方改革の

推進や、学校教育の基盤的なツールとしてICTは必要不可欠という認識の下、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで様々な課題を解決し教育の質の向上につなげていく society 5.0 時代にふさわしい学校づくりが重要です。

そして、これらの実現のためには、学校関係者が子どもや地域の実情を踏まえながら、必要な改革を躊躇なく進めていくことが大切であり、そのためには、その地域の住民等と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとなって子どもたちの成長を支えていくことが大切です。

渡島教育局といたしましても貴財団をはじめ、各学校、教育関係機関と連携・協働して「すべての子どもたちの可能性を引き出す」をスローガンに、渡島の子どものそれぞれの個性に応じた質の高い学びを引き出し、一人一人の資質・能力を高めてまいります。

小笠原アカデミー教育振興財団の長年にわたる渡島の教育の質の向上に向けた御支援に感謝するとともに、引き続き一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

## 令和2年 書籍・書架一式贈呈式 9月29日 湯川中学校に於いて



○小笠原孝理事長の挨拶

「本を読むことで、将来社会に出るときに必要な教養が身につく。本に親しんで勉強の糧にしてほしい」と述べる。



○感謝の言葉 湯川中(3年)生徒会長・清澤歌織さん

「新型コロナウイルスの影響で、家で過ごす時間が多くなったが、本は不安な気持ちをやわらげ、心のよりどころとなる。多くの人に読んでもらえるよう呼びかけ、本の素晴らしさを伝えていきたいと話された。

## 感謝のお便り

## 函館市立本通中学校

北島空月海・可香紗菜・熊谷遥斗&lt;令和2年10月&gt;

拝啓 さわやかな秋晴れの日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

小笠原アカデミー教育振興財団様におかれまして、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先日は素敵なお本棚とたくさんのお本を頂き、ありがとうございます。おかげで図書室が明るくなりました。また、本を頂いたことを全校生徒うれしく思っております。今後はたくさん本を読んで、また、たくさん冒険をし、それぞれの将来に向けてさらに知識を深めたいと思います。

本当にありがとうございます。最後になりましたが、貴財団のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具



平成27年から6年間で(下記の24校)に寄贈いたしました。

&lt;贈呈先選定&gt; ●函館市教育委員会 ●道庁教育局(北斗市教育委員会・七飯町教育委員会)

桔梗小学校 五稜郭中学校 本通中学校 藤城小学校  
 桔梗中学校 巴中学校 谷川小学校 軍川小学校  
 北美原小学校 青柳中学校 上磯小学校 七重小学校  
 亀田中学校 港中学校 久根別小学校 峠下小学校  
 日吉ヶ丘小学校 北中学校 荻野小学校 大中山小学校  
 赤川中学校 湯川中学校 浜分中学校 大沼岳陽学校

## 目録贈呈・小笠原勇人常務理事より



湯川中学校・生徒会代表

生徒会長・清澤歌織 図書委員長・吉岡美月



浜分中学校・生徒会代表

生徒会長・鳴海至哉 図書委員長・押切詢矢



本通中学校 生徒会副会長・北島空月海

会計・熊谷遥斗 書記・加香紗菜



七飯町立大沼岳陽学校

生徒会長・山口瑞希愛

## ★推薦とお礼の言葉を頂きました★

北海道教育庁道庁教育局  
局長・谷垣 朗函館市教育委員会学校教育部  
教育課長・小濱 誠北斗市立浜分中学校  
校長・大橋定朗 図書担当教諭・塚田温美七飯町立大沼岳陽学校  
校長・楳山 聡 生徒会長・山口瑞希愛北斗市教育委員会  
教育長・永田 裕七飯町教育委員会  
教育長・與田敏樹函館市立本通中学校  
教頭・佐藤強 図書担当教諭・濱本優華函館市立湯川中学校  
校長・内山 作 教頭・宮前由一学校司書  
伊東亜湖

## 学校関係者の来席《学校での図書活用を説明されました》

# 設立41周年(新)10期・定時総会

<令和3年7月16日>函館新聞社ビル3階会議室に於いて



一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団・役員  
理事長 小笠原 孝・常務理事 小笠原勇人

<令和3年7月16日・現在>

理事	小笠原 孝	評議員	小笠原 康正
◇	小笠原 勇人	◇	齊藤 良昭
◇	小笠原 弘	◇	近野 功
◇	野 又 肇	◇	庄 司 澄枝
◇	橋 本 守	◇	羽根田 茂信
◇	山 本 真也	◇	野 村 辰男
◇	平 野 利明	◇	成 田 豊
◇	竹 内 行雄	◇	野 口 博敏
監事	齊藤 一雄	◇	中 村 昌弘
◇	村 田 亮二	◇	青 田 基

○理事新任・山本真也

○評議員新任・中村昌弘 青田基

## ★本通中・女子ハンドボール部の勇姿をたたえ★ 大会出場遠征費用を贈呈する



### 第16回・春の全国中学生ハンドボール選手権大会

(令和3年3月、富山県氷見市開催)に北海道代表で出場!

函館市立本通中学校 校長・仲井靖典 コーチ・山田将平

<選手> 吉田結・南条結衣香・八重樫みなみ・相馬七海

堀田彩奈・中川美優・国仙櫻叶

函館市教育委員会

学校教育部長・永澤 篤 主査・外崎洋亮

小笠原アカデミー教育振興財団

理事長・小笠原孝 常務理事・小笠原勇人



### 吉田 結(主将)

初戦で秋田県代表の羽後中に勝利! 続く山梨県代表の塩山中の対戦では惜敗したが、全国の舞台で意地と個々の強さを見せることが出来たと報告し、結果は2回戦敗退となったが、これからは練習に励み、次の大会に向けて頑張りたいと力強く話した。

### ★特別寄稿★

## 童話「森の新聞屋さん」

明 育子

亀さんの家には沢山の新聞があります。配達するのは兎さん。

ある日のこと、兎さんが帰って来るなり

「亀さん亀さん、大事件が起きたんだ。」

「何、熊さんが血を流している。」

「そうだよ、このままじゃハイエナに襲わ

れて・・・恐ろしい事になっちゃう。」

亀さんは背中に救急箱を兎さんに結わい

てもらい、太い縄を口にくわえました。

熊さんは、応急手当をして、イカダで川

をくだりました。

亀さんの家で怪我が治るまで過ごしまし

た。

兎さんは、リスさんに頼んでドングリを

分けてもらいました。

亀さんは、家の近くで砂を掘り、アリ塚

を見つけました。そして、少し良くなった

熊さんに「おいでよ、おいでよ。」と手を

振り、くまさんは食べました。

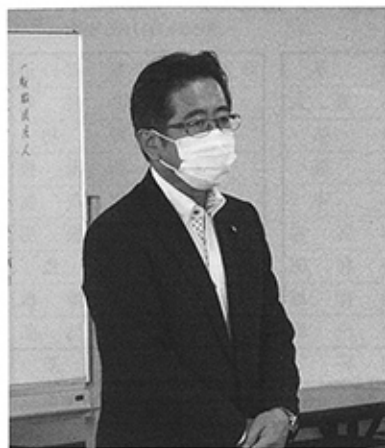
すっかり元気になった熊さんは、亀さん

と兎さんが手を振るのを見ながら、振り返

り、山に帰りました。

(第一部おわり)

# 一般財団法人 小笠原アカデミー 教育振興財団



奨学金貸与で学生に励ましの言葉を話される  
小笠原勇人常務理事

「昭和55年設立」株式会社テーオー小笠原(1950～2017)の創業者、故、小笠原亀吉翁の意思でもあった、青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」を具現化するために、小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として後継者が「小笠原アカデミー財団」を設立いたしました。

初代理事長は、(故、小笠原金悦)二代目理事長は小笠原孝となり、今日まで数多くの学生に奨学金を貸与して参りました。利用された学生達は、修学の上、教育者・指導者の道、又社会の第一線で活躍される道に進んでおられます。

その後、基金の増額として、小笠原孝夫人(故、小笠原幸子)の遺産の一部と、小笠原理事長個人の(株式、持株)の寄贈等によって更なる充実を計りました。平成24年には一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改め、新たに教育機関等への助成金制度を加えました。

優秀な成績をもって、全国大会出場の出場費用や、書籍・書架一式贈呈など、学校の教育資材寄贈などによって、一段と社会貢献に努めております。

令和2年度6月現在・奨学生総数201名となる 助成金は39団体に贈呈(書籍・書架一式は24校)

## 諸君の可能性を咲かせよう

### 向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

#### 【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

#### 【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
  - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
  - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

#### 【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

#### 【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要な事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年:4月1日～5月末日まで

### 教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

#### 【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

#### 【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を20万円とする。

#### 【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1、事業名称・代表者名
- 2、事業及び費用の概要・収支計画書
- 3、行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

#### 【例1】

- 小学校□□部 全国大会(東京)へ出場が決定しましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

#### 【例2】

- 中学校□□研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

#### 【例3】

- 教育団体の□□教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396